

栄村復興支援機構「結い」 希望のたね通信

第24号

みなさんこんにちは！結いのしよです。

震災からもうすぐ1年が経とうとしています。希望のたね通信も早いもので第24号の発行となりました！

結いでは冬も除雪のお手伝いをしたり、復興計画策定に向けたミニ座談会の開催をしたりと活動を続けています。

2月2日には、長野県警察本部少年課の皆さんと4人の少年少女が栄村のためにボランティアに来て下さいました。大久保と泉平のお宅2軒の雪掘を手伝って頂きました。慣れない雪の扱いに苦労していたようですが、「雪が多くて大変でしたが、少しずつ片付いていく過程はとても達成感を感じられました。」「家主さんに感謝されて嬉しかったです。」と感想を頂きました。青少年の健全育成に、結いもお役に立たようです。

この他にも、村外から除雪ボランティアをしたいと希望される方が増えています。まだまだ雪は降りますので、雪掘で疲れる前に結いへご相談ください。昨年末に除雪機の支援もして頂きました。

そんなに大きくはありませんが活躍しています。

屋根雪がつかえてしまったり、除雪が間に合わない等日程調整の上対応します。



栄中学校とのミニ座談会開催しました

1月25日、栄中学校で3年生の皆さんと一緒に復興計画策定へ向けた座談会を行いました。社会科の授業内で生徒さんが考えてきた復興プランを発表したり、グループに分かれてプランの練り直しを行いました。「福幸そば」や「絵手紙」に注目した意見が多く、中学生も栄村の特産をアピールする考えが強いようです。中には「福幸そばをインスタントそばのように加工して全国へ売り出したい」「地域の活性化に公民館を宿泊施設として利用する」など様々なアイディアが生まれました。限られた時間の中でしたが、中学生の発想力とそれをまとめる力にはびっくりしてしまいました！

駅前賑わい創出に向けて

森の駅前の空き地を利用して、かまくらを作りました。ボランティアさんにもご協力頂き、大人5人以上入れる大きさになっています。かまくらは全部で3つあり、駅前の駐車場と薬屋さん跡地と安藤洋服店さんの横3か所です。うち2つは残してありますので、森でお買い物の際に是非のぞいて見てください。かまくらを利用したいというご相談も受け付けます。あわせて駅舎の外壁に電飾を飾り、イルミネーションを設置しました。斉藤電気工事さんよりボランティアで高所作業車を出して頂き、完成しました。最近では駅前で写真を撮る姿が多く見られます。夕方5時には点灯しますのでぜひ見に行ってください！



「結いのしよ」に手伝ってもらいたいこと・相談したいことがあったら…?

→「結い」に直接お越しいただくか、お電話をください。お名前やお手伝いの内容をお伺いします。

栄村復興支援機構「結い」
(8:30~17:00)
場所:森宮野原駅交流館2階
電話:050-3583-2122

